

令和3年度全国学力・学習状況調査 結果分析・活用について

学校名	大磯町立大磯中学校
-----	-----------

1 調査結果の分析で明らかになったこと

	習得の状況が良好であると判断できるもの	指導の改善・充実が求められるもの
国語	<ul style="list-style-type: none"> 話合いの話題や方向を捉える設問や文脈に即して漢字を正しく読む設問において高い正答率を得られた。話す聞く領域と言語事項の習得状況は良好であると判断できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 書いた文章を推敲する設問や文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつ設問に課題が見られる。読む領域、書く領域の指導の改善・充実が求められる。
数学	<ul style="list-style-type: none"> 式変形を利用して説明する問題や、図形の性質を説明する問題は、特によくできていた。正確な言葉を使うことが生徒の理解を助けているのではないかと考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 数量の関係を、「$\bigcirc\bigcirc$は$\triangle\triangle$の関数である」という形で表現することについて、全国平均を少し下回った。とらえ辛い概念について、具体例を挙げながら繰り返し説明していくことが大切だと思われる。

質問紙	<ul style="list-style-type: none"> 1、2年生のときに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器を使用したことや自分の考えを発表する機会、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表したという肯定的回答が全国を大きく上回っている。 生活面では、「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている」「新型コロナウイルス感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、規則正しい生活を送っていた」や「人が困っているときは、進んで助けていますか」「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」の回答が全国を下回っている。
-----	---

2 学校運営及び授業の充実に向けた取り組み

<ul style="list-style-type: none"> 学習面では全体的に全国を上回る結果で、教職員が取り組んでいる授業研究の成果が出ていると感じるが、基礎的・基本的な知識・技能を習得、活用・発展できる力を身につけるために、引き続き全教科において個々の生徒の状況を把握し、課題解決学習の推進と言語活動の充実を図る。 書いた文章をクラスメイト同士で推敲し合ったり、作品中の表現の特徴について話し合ったりするなど協働的な学習を毎日の授業に取り入れる。 生活面では、家庭との更なる連携を図り、個々の生徒の状況把握と情報共有を基盤としたチーム支援体制を構築、実践する。
--

3 家庭（地域）へのお知らせ ※取り組んでいただきたい内容や知っておいてほしい内容等

<ul style="list-style-type: none"> 各種たより、メール配信システム、ホームページ等を活用して保護者・地域の皆様へ情報を発信します。 学習面・生活面について、ご家庭でのご支援ご協力を引き続きよろしくお願いいたします。 家庭で読書ができる環境や図書館に行く時間をつくるなど、日常的に書字文化に触れる機会をつくることできるようにご支援ください。 ご家庭とのより密接な連携のもと、学習習慣及び生活習慣の定着に向けて、タブレットの利活用や大磯町で導入したeライブラリー・アドバンスの活用等を図るよう努めます。
--